

御市環政第173号  
令和4年4月25日

奈良県文化・教育・くらし創造部  
消費・生活安全課長 中森 功征 様

御所市環境衛生部  
部長 竹原 全宏

### 所有者不明猫TNR事業に関する要望書

標記の件について、令和4年4月1日施行の「令和4年度所有者不明猫TNR事業実施要領」に係る「令和4年度奈良県TNR活動マニュアル」について、即時見直しを要望します。

#### 記

#### 1 要望内容

- (1) マニュアル7ページにおいて、手術済の印となる耳カットの方法を次のとおり変更した件について、即時撤回を求めます。  
(令和3年度)「猫の耳をV字にカットする」  
⇒ (令和4年度)「猫の片耳を1cmカットする」
- (2) 上記変更を行った趣旨と、当該変更を行ったことに関し、各市町村に対し、あらかじめ協議や説明がなされなかった理由について明確な回答を求めます。

#### 2 要望理由

今般の耳カット方法の突然の変更については、TNR活動に取り組んでいる地域住民やボランティアの人々から不満や困惑の声が広がっています。

財団法人どうぶつ基金が実施する「さくらねこ無料不妊手術事業」をはじめ、全国の自治体やボランティアの取り組みにより、我が国ではV字カット（さくら耳）が一般的であり、主流となっていることは明らかです。

ボランティアの間では、ストレートカットは、V字カットよりも見分けが付きにくく、捕獲や見守りに支障が生ずるおそれがあるとの懸念が示されています。耳カットはTNR活動において、Trap（捕獲し）とReturn（リリースし、見守る）を円滑かつ的確に行うための目印として実施するものです。そのTrapとReturnを担っている地域住民やボランティアの活動を阻害するおそれがある変更は、制度改悪と言わざるを得ません。

このようなTNR活動の現場に多大な影響をもたらす変更を行う以上、あらかじめその趣旨・目的を丁寧に説明する責任があったにもかかわらず、何ら事前協議や納得のいく説明がなされないまま、県と各市町村が協定書を締結する間際になって、唐突に本年度のマニュアル改定が通告されたことについて、強い失望と憤りを感じています。

「奈良県所有者不明猫TNR事業」は、多くの猫に無料で不妊去勢手術を実施できることから、猫の殺処分数の削減や地域住民の生活環境の改善に大きく寄与する有益な事業であると考えます。しかしながら、今般の一方的な制度変更は、TrapとReturnを担っている地域住民やボランティアの存在を軽んじるものであり、互いに協力してTNR活動に取り組んでいこうという姿勢がうかがえません。

V字カットは一部の愛好家がこだわっているだけで広く認知されていないとの見方もありますが、そうした愛好家たちのたゆまぬ努力によって地域のTNR活動が成り立っています。草の根レベルでTNR活動に励んでいる人々の切実な声に耳を傾け、耳カットに関するマニュアル変更の即時撤回と明確な説明を求めます。

以上の要望に関し、貴職の賢明なご判断を心から期待いたします。

なお、本件に関し、令和4年5月13日（金）までに文書で回答を頂戴したく、ご多忙のところ恐れ入りますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。

---

私たちは、御所市の要望の趣旨に賛同します。

(市町村担当課)

大和高田市市民衛生課	天理市環境政策課	橿原市環境政策課
桜井市市民協働課	五條市環境政策課	生駒市環境保全課
葛城市環境課	宇陀市環境対策課	平群町住民生活課
斑鳩町環境対策課	安堵町住民課	川西町福祉こども課
田原本町健康福祉課	高取町住民課	明日香村住民課
上牧町建設環境課	王寺町住民課	広陵町環境政策課
河合町環境対策課	天川村健康福祉課	野迫川村住民課
十津川村住民課		

以上22市町村

(ボランティア団体)

いかるがソラネコ会  
Enn  
たかだ地域猫ネットワーク  
Nara アニマルレスキューLien  
なら地域ねこの会  
ねこのわーなら  
ねこまる  
はしもとさくら猫の会和歌にゃんず五條支部  
Pure Heart Lovers  
もへのプロジェクト  
特定非営利活動法人 Life for cats in NARA

以上11団体（五十音順）